

# 雪国の温もり

## セナクワンチラー

From OG

東北大学大学院国際文化研究科の博士課程に入学した頃、登山にたとえると私はちょうど八合目あたりだと思っています。実は、私は現実の富士山登山でもとても苦い経験をしています。その時は、五合目から六、七時間も不眠不休で登って、八合目で体力と気力が限界に達し、頂上まで行きたい気持ちを残しながらやむなく下山しました。今思い出しても本当に悔しい経験でした。

日本のある大学院で修士を終えて博士課程に進学する時も、ちょうどその時と同じ、これ以上勉強を続けるのは無理だと思いう気持ちがありました。しかし、富士登山の失敗のような経験を二度としたくないという気持ちのほうが強かったので、東北大学への進学を決意しました。

日本から見れば常夏のタイからやってきた私にとって、雪国のイメージしかない仙台に移るのはとても不安でした。ところが、仙台の人たちに出会ってから、仙台は

温もりいっぱい雪国だという印象が変わりました。一番心に残ったのは、入学試験の面接のときでした。面接室の外で緊張して待っていたせいもあるかもしれませんが、仙台の冬の寒さこそ骨まで染みるほど本当に厳しいものでした。ところが、いざ面接の順番がきて、私を呼びにいらした先生が暖かな雰囲気です。「外は寒くないですか」と声をかけてくださった途端、寒さがいっぺんに消えたような気がしました。その先生は後に私の指導教官になる小野尚之先生でした。面接の時も先生方の温もりのある質問でリラックスできました。この面接を通して、東北大学で勉強したい気持ちが強く湧いてきて、合格できるように祈っていました。合格が決まった瞬間は本当にうれしく思いながら、一方で「これから山の八合目から頂上までどんな苦労が待っているのか」という不安感もありました。



SENA Khwanchira (セナクワンチラー)  
1973年生まれ  
出身学部 / 東北大学大学院国際文化研究科  
国際文化交流専攻博士課程修了  
現職 / タイ国の国立行政開発大学院  
(National Institute of Development Administration)  
Graduate School of Language and Communication  
副研究科長  
関連ホームページ / <http://lc.nida.ac.th/home/>

たが、楽しい経験、わくわくした経験などもたくさんできました。国際文化研究科ではタイではなかなか会えない様々な国、例えば、ジャマイカ、モンゴル、ロシアなどの人たちと出会い、異文化交流ができました。それに、言語コミュニケーション論講座の同級生、先輩、後輩が助け合って、研究室の雰囲気がとても和やかでした。仲間といることで研究発表や博士論文を書くことの辛さがやわらぎました。そのおかげで、私の登山道は思ったほどひどくありませんでした。指導教官をはじめ、当時の助手の夫明美先生の温かいご指導があれば、博士課程のゴールまで辿り着くことができなかつたと思います。やっと辿りついた頂上のすばらしい気持ちは、自分で苦しい山道を経験しなければ味わうことができない気持ちだと知りました。

## INFORMATION

2012年度  
4月～6月  
のご案内  
18:00～19:45

### 東北大学 サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

会場 / せんだいメディアテーク1F

2012年度 4月～6月の東北大学サイエンスカフェ・リベラルアーツサロンのテーマ、講演者をお知らせします。

参加費  
無料

(事前申込は不要です。)



#### 4月27日(金)サイエンスカフェ第79回

2011年ノーベル生理学・医学賞  
『自然免疫』って何?

倉田 祥一郎(東北大学大学院薬学研究科 教授)



#### 6月8日(金)リベラルアーツサロン第16回

伝統芸能をテクノロジーで  
未来に伝える

渡部 信一(東北大学大学院教育情報学研究部 教授)



#### 5月25日(金)サイエンスカフェ第80回

スピンと半導体を使った省エネルギー集積回路

大野 英男(東北大学電気通信研究所 教授)  
(東北大学省エネルギー・スピントロニクス  
集積化システムセンター センター長)



#### 6月29日(金)サイエンスカフェ第81回

秩序ってなに?  
～『準結晶』に見えてくるもの～

蔡 安邦(東北大学多元物質科学研究所 教授)

お問い合わせ 東北大学総務部広報課 TEL.022-217-4977

ホームページ <http://cafe.tohoku.ac.jp/>

未来ある人材を育むために  
東北大学基金へのご協力をお願いいたします。

東北大学基金事務局 | 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1  
☎022-217-5905 ✉kikin@bureau.tohoku.ac.jp

☞ <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/>

東北大学基金 |

検索